

■ 香南市未来戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について

【概要】

香南市では、平成28年2月に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度からは、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、人口減少に歯止めをかけるためにさまざまな施策を実施してきました。このたび、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間満了に伴い、第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる「香南市未来戦略 令和7年度～令和9年度」を策定します。この戦略(案)について、市民の皆様からご意見をいただきましたので、結果を公表します。

【意見募集結果】

- 意見の募集期間：令和7年2月10日(月)～令和7年3月10日(月)
- 意見等の受付件数：7人(11件)

- 1.全体に対するご意見・ご提案1件
- 2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案5件
- 3.その他のご意見・ご提案5件

1.全体に対するご意見・ご提案

NO	ご意見の概要	回 答	対応
1	今回の「香南市未来戦略(案)」についてもこれまで同様、いったい香南市は何に重点をおいて、具体的にどういう行政をしたいのか、こうしたいという強い意志がほとんど見えません。 副題に～誰もが安心して暮らし、働き、子どもを育てることができるまちに！～とあり、その内容はこれまでの総括と今後の全体像とあり、基本目標に3つの目標、「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進、こどもまんなか香南市の実現、魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進を掲げられています。これが行政の計画ですか。 申し上げにくいですが政治家の選挙ポスター、広報なのかと思いました。 具体的に内容を見てみるとこれまでの10年間の取組み実績はほとんど達成できておりません。それにも拘わらず今後の全体像の基本目標は、ほとんどが現状維持か増加の計画がなされています。具体的な話は後で述べますが、「香南市未来戦略 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書(案)」を読んでもその具体的な目標根拠は、ほとんど明確になっておらず、県の補助金規定や過去の平均値等となっています。一体香南市として具体的に計画実現にどうしようとしているのか、国や県が作成した戦略をただ単に取り入れ、総花的な目標や事業が沢山記載されていますが、これまでの10年で出来ていないものが、この計画でどうして達成できるのか理解できないし、本当に何とかしようという強い意志が感じられません。 どこかのコンサルに頼んで作成してもらい、協議してここはこうしてくれ、ここはこう修正してくれといった感じで作成したのではないかと疑いたくなるような内容です。 この未来戦略は、香南市の未来に重大な戦略でなければならないのに、ご担当者のご自身で調査、勉強し、真剣に考え抜いて作成されましたか。 重点政策、計画とそうでもないものを分類選択し、重要度に応じて具体的に実現性のある計画にしなければならないと考えます。 これに記載されている対策、事業が無駄であるといっているのではありませんので、誤解無きよう願います。	香南市のこれからのあるべき姿とそれを実現するための考え方や方向性は、行政運営の最上位計画(総合計画)である「香南市振興計画」でお示しをしています。 第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる香南市未来戦略(以下、「本戦略」という)は、地方版総合戦略に位置づけられるものであり、「人口減少克服や地方創生」に資する戦略となります。 本戦略の策定に向けては、本市の財政状況が今後ますます苦しくなり、人的資源の確保にも限りがある状況において、施策、事業の優先順位はどうあるべきなのか等を市としてしっかりと戦略の中に落とし込めるについても大きな課題として認識したうえで、移住目線よりも市民目線に重きを置いた施策を展開するために、本戦略の策定に向けた策定委員会の委員を一新し、子育て世代等の若い委員さんを中心に、また、半数以上を女性の方として、「今後、必要な施策は何なのか」、市長、副市長、教育長を含めた行政と委員がワークショップや意見交換を行い、議論を深めながら、コンサルは入れずに本戦略(案)の策定に取り組んで参りました。 これまでの10年間を通じて、総合戦略の最も大きく、かつ、根本的な課題である人口減少の抑制に資する施策の推進に努めてきており、その点については、本戦略でも基本的には変わりなく取り組んでいきますが、国全体の人口のパイが縮むのを食い止めるのは、国が主体性をもって果たすべき役割であるのに、10年以上の間、有効な施策を打つことができないにもかかわらず、地方には縮むパイの取り合いという競争を促し続けた結果、自治体の中には疲弊感や諦めにも似た状況が生じていたことを踏まえ、「今後の移住関連施策等に本市はどこまで力をいれるのか等をしっかりと考えるべきではないのか」、また、「国の総合戦略(デジタル田園都市国家構想 地方創生2.0)の方向性は踏まえながらも、何よりも香南市民の思いに向き合い、そこから市の施策事業に生かしていくという過程を大切にすべきではないか」との考えを軸に本戦略は整理を行っています。 また、本戦略のKPIに関しては、ご確認をいただいています通り、「香南市未来戦略 数値目標及び重要業績評価指数(KPI)評価書」において、目標設定の考え方を全事業お示しさせていただいていますが、先に記載をいたしました通り、今後当市では、厳しい状況が待ち受ける中であっても、令和5年度の実績を軸に、現状の維持、または、それ以上の成果を出していくことを基本姿勢として整理を行っています。	今後の参考とする

■ 香南市未来戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について

【概要】

香南市では、平成28年2月に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度からは、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、人口減少に歯止めをかけるためにさまざまな施策を実施してきました。このたび、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間満了に伴い、第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる「香南市未来戦略 令和7年度～令和9年度」を策定します。この戦略(案)について、市民の皆様からご意見をいただきましたので、結果を公表します。

【意見募集結果】

○ 意見の募集期間	： 令和7年2月10日(月) ～ 令和7年3月10日(月)	1.全体に対するご意見・ご提案	1件
○ 意見等の受付件数	： 7人 (11件)	2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案	5件
		3.その他のご意見・ご提案	5件

2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案

NO	ご意見の概要	回 答	対応
1	人口減・高齢者増・外国人増と地域の活性化の『「香南市がやっぱりいい」と思えるまちづくりの推進』を柱にした「短期移住者として、高知工科大学学生・高知大学農学部生の存在を生かす」を発案する。 高知高専生も対象となるかもしれません。 人口をできるだけ維持し、香南市にお金が落ちるかもという内容です。 【大学生の力をかりる】 1.高知工科大学学生・高知大農学部生・高知高専生等のアパート、マンション、又は寮をつくる。 補足 大学生は4年間から6年間ほど生活し、そして入れ替わる。 常に学生が入ってくるので、急速な人口減を抑えることができるのではないかと考える。 また、投資できれば大学方面への市バスの定期便があれば学生も前向きに考えるのではないか。 2.保幼小中学校の支援、又は、地域ボランティアとして。 地域経営店(会社)のアルバイトとして活用する。 補足 地域活性の一役を担ってもらいながら、香南市の良さを知り、願わくば住み続けていただく。 学生が動くとなつた連携が生まれてくるのではないかと期待する。 3.南海大地震前の地域活動や発生時後における若い力の必要性。 補足 ご高齢の方が多くなつてきているので、高齢者数と同等以上の動ける若い力が必要である。 若者の発想も含めて。	地域のマンパワー不足や移住者、若者を受け入れる体制、また、若者が定住する仕組みのご提案として、いただきましたご意見を参考に、本戦略策定委員会での検討や関係課とともに、まずは学生たちの現状を把握する取組等を行つて参ります。	今後の参考とする

■ 香南市未来戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について

【概要】

香南市では、平成28年2月に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度からは、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、人口減少に歯止めをかけるためにさまざまな施策を実施してきました。このたび、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間満了に伴い、第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる「香南市未来戦略 令和7年度～令和9年度」を策定します。この戦略(案)について、市民の皆様からご意見をいただきましたので、結果を公表します。

【意見募集結果】

- 意見の募集期間

： 令和7年2月10日(月) ～ 令和7年3月10日(月)
- 意見等の受付件数

： 7人 (11件)
- 1.全体に対するご意見・ご提案

1件
- 2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案

5件
- 3.その他のご意見・ご提案

5件

2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案

NO	ご意見の概要	回 答	対応
2	この未来戦略(案)の本当の目的はどこにありますか。 私は、結局2つの問題解決のための未来戦略(案)であるし、そうでなければならいと考えます。 1つ目は、この計画にも記載があるように、香南市の人口減少を防ぐこと。 その為に何をしなければならないか？20代～30代の女性(一般的な出産可能年齢)の人口減少を防ぐ事。或いは増やす事。 2つ目は、それが実現できるように、香南市の財政力を強くする事。 以上の2点がこの未来戦略(案)で重点的に計画なさるべき事ではないかと考えます。 釈迦に説法で申し訳ございませんが、お金の裏付けの無い計画等は、理想論で実現不可能です。 そのことがこの計画(案)には一切触れられておらず、また残念ながらすべての事業を本当の意味で実現させるような財政力は香南市にはありません。 1つ目の戦略を実現するためにどういった政策、事業があるかについて、私見を述べさせていただきます。 一つには、香南市及び周辺(高知、南国、香美市等)の学生に対し、市が住宅助成金(具体的な助成率等は要検証)を出して、香南市に住んでくれる学生(特に女子学生)を増やす事。 楽しい学生時代に2～4年住んだ町は、親近感を持ってくれます。 卒業後高知、南国、香美市等に就職しても香南市に在住したまま通勤してくれる可能性が高くなると考えます。 高知安芸自動車の野市インターが開通すればなおさらです。 卒業後も一定の助成金を一定期間助成続ければ、更に香南市に在住し続けてくれる方が増えると考えます。 二つには、今回の「香南市未来戦略 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書(案)」のP27に書かれている、香南市未来人材育成奨学金返還助成事業「大学等卒業後、市内に住所を有し、県内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は起業する若年者(満40歳未満)を対象に奨学金返還額の一部を助成することにより、人材の確保と市への定着を図る。です。 ここに手厚い助成をして頂きたい。これは素晴らしい政策、事業だと思います。 三つには、そうした若年層に必要で、人気のある商業施設全般の誘致を、手厚い補助金やその他の優遇税制等によって実施する事。 すべての施設は難しくても若年層に人気の基本的な施設は香南市にはあるという状況。 場合によっては、高知市以东では香南市にしかないような施設。 (今春オープンの佐野屋、すき屋等全国大手であれば更に望ましい) 四つには、こどもまんなか香南市の実現で計画されている 1.妊娠・出産に関する体制の充実、2.子育てに関する体制の充実、3.地域と連携した子育ての推進の政策に対し、異次元の予算配分を実施する事。 全国的に評判に上り、マスコミで取り上げられる位の異次元な手厚い支援でなければ効果はないと考えます。 近隣市から引越して来る位のもです。 その為に、財政力の強化と集中と選択が必要だと考えます。 これらが実現できると、学生に住んでもらい、就職後も居住してもらい、その生活環境を改善し、子育ても安心となれば香南市の若年層の減少を抑制し、人口全体では漸減しているが、少高齢若年化(造語)ができる可能性が見えてきます。	【学生が香南市に居住することについて】 いただきましたご提案につきましては、本戦略策定委員会での検討や関係課とともに、まずは学生たちの現状を把握する取組等を行って参ります。 【香南市未来人材育成奨学金返還事業について】 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業は、R7年度より対象者を拡充し取り組むことから、皆様にご活用いただけるよう周知に努めて参ります。 【商業施設全般の誘致について】 商業施設の立地は、一定の経済効果や雇用の創出が期待できますが、一方で、周辺住民の生活環境への影響等を考慮する必要もあります。 市では現在、中心市街地の活性化に向けた取り組みを進めておりますことから、今後も地域のニーズや環境に配慮しながら、魅力ある産業の維持・活性化に向けた取り組みを進めて参ります。 【こどもまんなか香南市の実現に向けた予算配分について】 当市では、不妊治療時の心理的・経済的負担が大きいことを考慮し、妊娠・出産支援の一助として、その対応を市費で行う等の取り組みを進めています。 また、昨今では、出産後の産後ケアの需要が高まっておりますが、当市では、香南市産後ケア事業を平成31年度から取り組み、令和6年10月には、これまでの宿泊型・訪問型の支援に加え、通所型の支援を開始する等、妊娠・出産に紐づく取り組みの強化を進めています。 さらに、令和6年度からは、乳幼児等医療費助成事業の対象者を15歳から18歳までに引き上げる等、子育て支援策に力を入れてきています。 また、総合子育て支援センター「にこなん」の土曜日開設を令和5年度より月1回から毎月第2・第4土曜日に拡充しておりましたが、本未来戦略の策定委員会の議論を踏まえ、令和7年度からは、毎週土曜日開設へと更なる拡充を図り、市内在住の未就学児やその家族、妊婦さんの支援に繋がります。 加えて、公営の放課後児童クラブ(野市小・佐古小・野市東小・赤岡小)の学校のある日に延長保育(18時から18時30分まで)を実施し、働く保護者の支援に繋げる取り組みも進めていくこととしています。 本市の令和5年度一般会計の決算における実質単年度収支は、合併後初めての赤字となり、6年度決算においては、更に大きな歳入不足が見込まれる等、財政状況はさらに厳しくなっていくと予測していますが、令和7年度の子育てに紐づく児童福祉費は、R6年度に比べ同水準以上を確保しています。 令和7年度には行財政改革に注力し、歳出の削減と歳入の確保に向けた実効性のある取組を全庁的に推進し、一年でも早く、歳入に見合った歳出構造への転換を図り、しっかりとした財政基盤を構築し、行政運営の持続性を確保することが、未来戦略に掲げる本市の将来像である「誰もが安心して暮らし、働き、子どもを育てることができるまちづくり」を着実に進めるために必須となります。 限られた財源と人的資源の中で、「こどもまんなか香南市の実現」等、本市の戦略的取組に資する事業を実施できるよう選択と集中を進めて参ります。	今後の参考とする

■ 香南市未来戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について

【概要】

香南市では、平成28年2月に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度からは、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、人口減少に歯止めをかけるためにさまざまな施策を実施してきました。このたび、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間満了に伴い、第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる「香南市未来戦略 令和7年度～令和9年度」を策定します。この戦略(案)について、市民の皆様からご意見をいただきましたので、結果を公表します。

【意見募集結果】

○ 意見の募集期間	： 令和7年2月10日(月) ～ 令和7年3月10日(月)	1.全体に対するご意見・ご提案	1件
○ 意見等の受付件数	： 7人 (11件)	2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案	5件
		3.その他のご意見・ご提案	5件

2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案

NO	ご意見の概要	回 答	対応
3	2つ目の戦略を実現するための政策についてですが、現状を認識することから始める必要があります。香南市は、総務省の「全市町村の重要財政指標」令和5年度 財政力指数でみると0.33であり、全国平均の0.48に遠く及びません。高知県では、全国平均を超えているのは、高知市0.63、南国市0.59の2市だけです。この財政力の現状である香南市が、国、県が掲げた戦略と同じ未来計画等できる訳がありません。この財政力を強化するためには、財政力強化にならない政策、事業はまずは止めるしかありません。具体的な事業等について述べる事は、パブコメである本文では差し控えますが、「香南市学校等の規模適正化等基本方針(案)」が失敗したように、また「香南市公共施設等の適正配置に関する方針(案)」もおそらく計画通りにはならないと考えています。いずれの方針も将来を見据えて市としてこうする。という強い意志がないから、総花的な当たり障りのない行政となっているからです。 香南市の未来は、1つ目(2.全体に対するご意見・ご提案 NO.2)で述べましたが野市町の若年人口を増加させ、商業施設誘致を促進し、手厚い子育て支援に予算を重点的に配分していくしか生き残る道は無いと考えています。 香南市の全ての地域を生かす事は不可能です。残念ですが、野市町以外の町については、徐々に行政の予算配分を削減、停止し、予算の少ない代替政策で対応する以外に方法はありません。野市町以外の町は、野市町が発展することによってしか救う事は出来ないと考えます。こうした話をすると、議員までが歴史と伝統のある〇〇を残さなければならぬ。であるとか、〇〇町を見捨てるのかといった感情論になります。未だに旧五箇町村の亡霊が残り続けています。残念です。市長であれ、議員であれ、行政官であっても結果を出さなければなりません。計画したら、その結果に責任を持たなくてはならないと考えます。10年前からの計画が未達成であっても誰も責任を取りません。これでは行政不信となります。日本全体が更に厳しい競争にさらされる時代になっています。財政力強化に全力で取り組んで頂きたいと存じます。	本戦略では、2060年(令和42年)の人口が令和5年度末の人口から2割以上減少する見込みであることを鑑み、人口構造を少しでも若返らせるよう努める「少子高齢化を抑制するための取り組み」と将来にわたって持続可能なまちづくりを実現するための「人口減少に備えるための取り組み」を進め、人口が大きく減少する中であっても、「誰もが安心して暮らし、働き、子どもを育てることができるまち」を目指すべき姿として掲げています。今後も、野市町だけでなく、香南市全体のことについて、本戦略策定委員会や関係課と検討を行って参ります。	今後の参考とする
4	空き店舗の増加や利用者の高齢化といった課題を解決するため、まちおこしの継続したイベントを取り入れることにより若者を巻き込んだ地域の活性化を促す。これらの取り組みを通じて住民の意識改革が進み、地域の人々及び商店街の意欲が向上することが狙いです。結果、集客事業の効果が上がり、まちの活力が維持されていくものと考えております。	本戦略の基本目標である「魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進」の1.生産性や付加価値の向上を目指す事業者への支援、(2)商工業 の、『中心市街地の振興』やまちづくり関係課との連携により、産業(商業分野)の活性化やまちづくりの活力へとつなげて参ります。	意見の趣旨・考え方が既に原案に盛り込み済

■ 香南市未来戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について

【概要】

香南市では、平成28年2月に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度からは、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、人口減少に歯止めをかけるためにさまざまな施策を実施してきました。このたび、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間満了に伴い、第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる「香南市未来戦略 令和7年度～令和9年度」を策定します。この戦略(案)について、市民の皆様からご意見をいただきましたので、結果を公表します。

【意見募集結果】

- 意見の募集期間：令和7年2月10日(月)～令和7年3月10日(月)
- 意見等の受付件数：7人(11件)

- | | |
|---------------------------------|----|
| 1.全体に対するご意見・ご提案 | 1件 |
| 2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案 | 5件 |
| 3.その他のご意見・ご提案 | 5件 |

2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案

NO	ご意見の概要	回 答	対応
5	私は9月に高知市から香南市に引越してきました。そこでHPを見ることが多くなり知りたい情報が気になり、Instagram等をフォローして情報収集しましたが、知ろうとしないと情報が入ってこないと思いました。いろいろな案がある中で、全部に共通すると思いますが、香南市はYouTubeやSNSがあると思うのですが、もっと活用し、知ってもらい、数を打つと、知らなかった人に届いたり、響かなかった人達に響いたりし、なにかしらのきっかけになると思います。 私は社会人で新入社員の子に絶対聞く質問があります。「どうしてこの会社を選んだのか」と聞くとSNSでの発信で知り、そこでより詳しく中身を教えてくれるから、安心して就職活動に励まれたと答えてくれる人達が毎年います。SNS＝若者のイメージはありますが、年配の方にも普及してきているので、今でも強いSNSをさらに強化すると数字は伸びると思います。この世の中、詐欺等多い中、信用をするには見せる、知るが大事だと思います。僕は香南市のSNSとHPを見る事が好きで、毎日見てます。香南市が好きになりました。香南市のために何かお役立ちができれば嬉しいです。	SNS等の情報ツールは年代を問わず大変効果的であると考えています。SNS等の利用者は今後もますます増える見込みであり、令和5年度から、高齢者等を対象とした「初めてのスマートフォン体験講座」等を民間携帯電話会社と連携して取り組む等、デジタルデバイト対策にも取り組みながら、香南市のSNSによる発信強化も進めています。ただし、発信する情報数を増やすだけでは強化とは言えないと考えています。必要な情報を取捨選択する住民の皆さんを辟易させないよう受け手側の年代や職業等によって必要な情報をしっかりと見極め、今まで以上に効果的な情報発信を行っていきます。また、当市の各SNS媒体に登録していただけるようPRも強化していきます。 なお、当市のDX化におきましては、本戦略策定委員会での検討や関係課とともに検討を行って参ります。	今後の参考とする

■ 香南市未来戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について

【概要】

香南市では、平成28年2月に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度からは、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、人口減少に歯止めをかけるためにさまざまな施策を実施してきました。このたび、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間満了に伴い、第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる「香南市未来戦略 令和7年度～令和9年度」を策定します。この戦略(案)について、市民の皆様からご意見をいただきましたので、結果を公表します。

【意見募集結果】

- 意見の募集期間：令和7年2月10日(月)～令和7年3月10日(月)
- 意見等の受付件数：7人(11件)

- | | |
|---------------------------------|----|
| 1.全体に対するご意見・ご提案 | 1件 |
| 2.基本目標、基本的方向性、具体的な施策に関するご意見・ご提案 | 5件 |
| 3.その他のご意見・ご提案 | 5件 |

3.その他のご意見・ご提案

NO	ご意見の概要	回 答	対 応
1	物部川の状況がひどく、昔のような物部川にしてほしい。 山も荒れ、水生生物はいなくなり、とても悲しいです。 ここ数年で、あんなにたくさんいたカエル、トンボ、スズメが見えなくなりました。 香南市の自然環境についてどう思っているのか、香南市の姿勢を市民に示してほしい。	本市では、様々な課にまたがり環境に紐づく事業を行っております。 本戦略は、地方版総合戦略の位置づけでられるものであり、「人口減少克服や地方創生」に資する戦略となりますことから、いただきましたご意見は関係課に共有をさせていただきました。	意見・質問として伺う
2	香南市に限らずですが、子どもたちの状況は不登校等問題が多いと感じます。 学力テストの成績を上げることばかりの県の姿勢に追随せず、市の独自の教育理念で本当に子どもたちにとって何が必要なのか、市民とともに考えてくださいますようお願いします。	いただきましたご意見は香南市教育委員会の「第2期香南市教育振興基本計画」にて取り組みを進めています。 今後も香南市教育委員会が中心となり、市民の皆さまとともに考えて行きたいと思います。	意見・質問として伺う
3	香南市議会の議会中継をYouTubeで配信してください。	香南市議会の運営に対し、本未来戦略内で協議することはできないことから、いただきましたご要望は香南市議会事務局へ共有をさせていただきました。	意見・質問として伺う
4	耕作放棄地で、オーガニックの市民農園をしてください。	いただきました市民農園のご意見につきましては、農林水産課が中心となり、他の自治体の事例を参考にしながら検討していきたいと考えています。	今後の参考とする
5	防災の観点から、働く場と生活の場を分けた地域区分が必要と考える。 人口が自然増減する地域を鑑みると、野市町・香我美町北部地域を生活区とし、吉川町・赤岡町・香我美町南部・夜須町を働く地区として、南海トラフの津波災害に対応したまちづくりをするべきと提唱する。 生活区では、上下水道やインフラの修繕を重点的に進め、反対に、居住地確保のため、主要道路沿い以外での商業施設の建築を規制する条例が必要である。 また、教育・保育施設に関しても生活区への集約化を進め、同時に文化施設の移転も行うべきである。 働く地区に関しては、生活者たちへの移住(転居)を進めるべく、補助金を出すことで、震災時の避難用仮設住宅用地に近い場所へ移転を進める方策を出す。 津波浸水地区では、農地化を進め、理解を得られる所から建物を解体し、農地化、若しくは広場化を進める。 災害の際、津波による境界が不明にならないよう、しっかりデータを取っておく。 農業・漁業に携わる者には、年1回の避難訓練を義務付け、市に報告させる。 津波被害の後に再開できない農地については、集約化の後にビオトープの公園として整備し、同時に公園の集約化も図るべきである。	本市は、香南市振興計画で示された将来都市像の実現を目指し、市民と行政が協働で香南市の将来像について検討し、本市が今後取り組むべき施策の整備方針を反映させ、将来の香南市の都市像を描き、まちづくりに関する様々な分野での方針及び取り組みの方向性を示す「香南市まちづくりグランドデザイン基本計画」をH27年度に策定しており、平成30年5月には、人口減少や少子高齢化の進展、町村合併等の社会情勢の変化を踏まえ、概ね20年後を見据えて都市づくりに関する方針を示した「香南市都市計画マスタープラン」を策定しています。 今後、人口の急激な減少と高齢化に対応するため、防災や公共交通だけでなく、将来的に持続発展可能な都市構造の在り方について、住宅政策課が中心となり検討を行う予定です。 また、防災対策課では、「事前復興まちづくり計画」の策定に着手しておりますので、いただきましたご提案につきましては、各計画等の今後の参考にさせていただきます。	今後の参考とする